

# 小田切地区住民自治協議会だより 2号

小田切地区住民自治協議会  
発行：総務・安全防災部会

## 平成 21 年度 小田切地区住民自治協議会総会開催される

平成 21 年 6 月 17 日（水）小田切公民館学習室 1 において、平成 21 年度小田切地区住民自治協議会総会が 34 名の評議委員のうち 28 名の出席をいただき、盛会に開催されました。

総会では、斉藤会長から 4 月 20 日（月）に行われた「長野市との協働に関する基本協定の締結について」の報告がありました。

その後、住民自治協議会設立準備会決算報告、平成 20 年度の事業報告と決算報告及び平成 21 年度の事業計画と予算についての議案が満場一致で承認されました。



### 平成 21 年度事業計画

#### 1 住民自治協議会全体

- (1) 小田切地区の各種団体の統廃合を基にした、地区の特性や実情にあった取組みを検討する。
- (2) 地域いきいき運営交付金等の配分を検討する。
- (3) それぞれの部会に属する団体については、各団体の事業計画にもとづき事業を実施する。

#### 2 総務・安全防災部会

- (1) 広報誌を発行
- (2) 地域安全対策の推進
- (3) 中山間地域自治活動支援モデル事業の実施
- (4) 期日前投票支援事業の実施

#### 3 福祉・健康部会

- (1) 小田切地区地域福祉活動計画の策定
- (2) 「小田切の里 健康おどり」の創作・普及
- (3) 福祉推進員の設置の検討

#### 4 環境・地域活性化部会

- (1) 観光看板の設置
- (2) ごみゼロ運動の実施
- (3) 不法投棄防止看板の設置及び地区内パトロールの実施
- (4) 農作物の有害鳥獣対策
- (5) 遊休農地の活用対策

#### 5 教育・文化部会

- (1) 各種世代間交流事業の推進
- (2) 「青少年育成講演会」の開催（青少年育成小田切地区会議及び子ども会育成連絡協議会との共催）
- (3) 「小田切地区人権を考える市民の集い」の開催（人権同和教育促進協議会及び男女共同参画市民推進員との共催）
- (4) 小田切歴史民俗資料展示室のパンフレット作成
- (5) 地区住民の親睦と健康増進、スポーツ振興の推進

### 平成 21 年度一般会計予算

収入 (単位：円)

科目	予算額	付記
助成金	330,000	長野市づくだし支援事業交付金
"	27,000	長野市地区住民自治活動保険料助成金
雑収入	1,000	貯金利息ほか
繰入金	308,000	地域開発促進協議会 110 千円 区長会 198 千円
合計	666,000	

支出 (単位：円)

科目	予算額	付記
運営費	54,000	事務器具、消耗品等
事業費	100,000	総務・安全防災 広報誌発行等
	200,000	福祉・健康 小田切の里健康おどり 創作・普及活動
	130,000	環境・地域活性化 観光看板等作製
	100,000	教育・文化 歴史民俗資料展示室 パンフレット作成
保険料	57,000	住民自治活動保険
予備費	25,000	
合計	666,000	

平成 21 年度中山間地域自治活動支援モデル事業会計予算

収入 (単位: 円)

科目	予算額	付記
補助金	600,000	中山間地域自治活動支援モデル事業補助金
合計	600,000	

支出 (単位: 円)

科目	予算額	付記
報償費	400,000	公道の草刈り、枝払い、支障木の伐採、側溝清掃等
〃	200,000	福祉自動車運転協力員報酬
合計	600,000	

福祉・健康部会の取組み

福祉・健康部会長 山上 健一

本年度の福祉・健康部会の事業計画等について説明いたします。

福祉・健康部会は、社会福祉協議会、民生・児童委員協議会、保健補導員会、老人クラブ及び遺族会小田切支部から構成されています。本年度の個別事業は従来の上記5団体により推進しますが、部会としては「平成21年度事業計画」に記載してある3件の事業の推進を図ります。

最初に(1)の「地域福祉活動計画の策定」であります。全国世論調査会が本年6月6、7日に実施した全国面接世論調査によると、調査対象者の67%が将来に対する不安を訴えているとの回答で、若者人口の流出の激しい地域で特に顕著との事です。(信濃毎日新聞 6月21日)

当小田切地区も年々人口の減少及び少子高齢化が進んでおり、平成21年4月1日付の人口は1,234名と市内30地区で一番小さい区になりますが、少ない人材でも支え合いの活力は維持推進したいと思います。

地域福祉活動計画づくりは平成16年より市内30地区で順次取組みが始められ、既に22地区で「地域福祉活動計画策定書」を策定または準備中です。

小田切地区も30地区の最後尾だけは回避したく、長野市から福祉活動計画策定の予算とワーカー設置の人件費を配分していただき、地区社協内に担当者を配置いたしました。

この「小田切地域福祉活動計画」の策定は課題が多義に及ぶ為、福祉・健康部会のみでは計画を具体化する事は不可能であり、住民自治協議会のみならず地区住民全員の思案と努力が必要と思われます。

次に、(2)については、『小田切の里のメロデーと共に踊りの普及により地域に対する求心を図る。』、『保健補導員会の保健活動の中に取り入れ、地域健康体操として定着、普及を図る。』の二点を目的に、踊りの作成を宮尾もも江、西山一二美、山口明子、清水保健師の各皆さんにお願いして振り付けが完成しました。



去る6月18日に保健補導員会、白バラ友の会の皆さん等により公民館体育館で披露され、6月20日の市民新聞にも掲載されました。

次に、(3)の「福祉推進員の設置の検討」ですが、福祉推進員は先進地区では平成13年頃より活動しており、未設置は7地区です。

福祉推進員設置は、民生・児童委員協議会と連携し「小田切地域福祉活動計画」を推進する中で欠かす事の出来ない組織と思われます。

最後に、長年続いた団体組織の見直しは決して容易ではありません。

しかし、都市内分権の必須事務、選択事務の選択を誤りなく、しかも地域の現状を勘案し福祉活動を後退させる事のないよう考えて行きたいと思えます。

以上いずれも地区の皆さんの尊大な御理解と御協力、より良き思案をお願いしつつ、共に前進したいと存じます。

元気なまちづくり市民会議開催のお知らせ

次の日程で「元気なまちづくり市民会議」が本年度も開催されますのでご参加ください。

1 期日 平成21年9月5日(土) 2 時間 午後2時~ 3 場所 小田切農村環境改善センター